



## 2022年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2022年2月10日

上場会社名 日本ピグメント株式会社  
 コード番号 4119 URL <https://www.pigment.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 加藤 龍巳  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役常務執行役員 (氏名) 今井 信一  
 四半期報告書提出予定日 2022年2月10日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東  
 TEL 03-6362-8801

(百万円未満切捨て)

### 1. 2022年3月期第3四半期の連結業績(2021年4月1日～2021年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第3四半期	20,475	△2.6	1,066	—	1,184	—	771	—
2021年3月期第3四半期	21,015	△33.3	△220	—	△114	—	△33	—

(注) 包括利益 2022年3月期第3四半期 1,063百万円 (—%) 2021年3月期第3四半期 △211百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第3四半期	491.67	—
2021年3月期第3四半期	△21.47	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年3月期第3四半期	33,402	14,778	41.3
2021年3月期	32,341	13,793	40.0

(参考) 自己資本 2022年3月期第3四半期 13,791百万円 2021年3月期 12,922百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期	—	—	—	50.00	50.00
2022年3月期	—	—	—		
2022年3月期(予想)				100.00	100.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日～2022年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	26,800	△11.0	1,450	449.1	1,550	404.4	1,000	—	636.97

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

売上高については日本国内において2021年4月1日以降「収益認識に関する会計基準」の適用により、受託加工品については売上高を純額で認識することによる影響を受ける見込みです。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2022年3月期3Q	1,575,899 株	2021年3月期	1,575,899 株
② 期末自己株式数	2022年3月期3Q	5,991 株	2021年3月期	5,965 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2022年3月期3Q	1,569,920 株	2021年3月期3Q	1,569,952 株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料3ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報.....	2
(1) 経営成績に関する説明.....	2
(2) 財政状態に関する説明.....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明.....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記.....	4
(1) 四半期連結貸借対照表.....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書.....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項.....	8
(継続企業の前提に関する注記).....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記).....	8
(会計方針の変更).....	8
(セグメント情報等).....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業の生産活動に持ち直しの動きがみられ、新型コロナウイルス感染症のワクチン接種の進展により活動制限が緩和されたものの、依然として景気の先行きは不透明な状況となっております。一方海外においても、活動制限措置が段階的に緩和され、経済活動の正常化が進みましたが、新たな変異株の感染が拡大するなど、予断を許さない状況が続くことが想定されます。

このようななか当社グループにおいては、半導体不足や受託先での原料供給問題の影響を受けたものの、堅調な受注に支えられ、業績は順調に推移しました。当第3四半期連結累計期間の売上高は、当期から日本国内で適用される「収益認識に関する会計基準」により、受託加工品の売上高を純額で認識することによる影響を受け、204億7千5百万円(前年同期比2.6%減)となりました。経常利益は11億8千4百万円(前年同期経常損失1億1千4百万円)、親会社株主に帰属する四半期純利益は7億7千1百万円(前年同期親会社株主に帰属する四半期純損失3千3百万円)となりました。

当社グループのセグメント業績は次のとおりです。

#### 「日本」

国内部門別の概況として樹脂コンパウンド部門は、半導体不足の影響や東南アジアからの部品供給減から自動車関連の受注が汎用樹脂で影響を受けたものの、エンジニアリングプラスチックの受注は依然堅調であり、部門営業利益は昨年を上回りました。

樹脂用着色剤部門は、自動車関連の販売が落ち込んだものの、フィルム用途が堅調なことに加え、化粧品・トイレットリー向けで一部回復が見られ、部門営業利益は昨年を上回りました。

加工カラー部門は、主要取引先の自動車用内装材関連が減産の影響を受けましたが、シーリング材関係で販売が堅調なほか、液体分散体でもパソコン、タブレット向け中小型パネル用途が想定以上の販売となり、部門営業利益は昨年を上回りました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は、前年同四半期と比べ販売数量は大幅増となったものの、「収益認識に関する会計基準」の適用により、108億2千9百万円(前年同期比30.2%減)、営業利益は6億7千万円(前年同期営業損失1億5千6百万円)となりました。

#### 「東南アジア」

東南アジアは、前年度に続き各拠点において各国の感染拡大防止策としての社会的制限下での生産・販売活動となったものの、各国政府の景気刺激策の効果もあり、車両向け等での受注回復により、当第3四半期連結累計期間の売上高は93億1千3百万円(前年同期比76.4%増)、営業利益は3億9千7百万円(前年同期営業損失6千3百万円)となりました。

#### 「その他」

その他は、中国国内の自動車販売が一昨年水準まで回復し、受注が堅調であったことから当第3四半期連結累計期間の売上高は3億3千2百万円(前年同期比47.3%増)となったものの、営業損失は1百万円(前年同期営業損失1百万円)となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間の総資産は334億2百万円と前期末の323億4千1百万円に比べ10億6千1百万円増加となりました。

資産のうち流動資産は180億9千6百万円と前期末の167億5千3百万円に比べ13億4千3百万円の増加となりました。この主な要因は受取手形及び売掛金が4億2千1百万円、製品が5億1千2百万円、原材料及び貯蔵品が4億9百万円、その他が9億8千8百万円それぞれ増加し、現金及び預金が9億8千8百万円減少したことなどによるものです。固定資産は153億6百万円と前期末の155億8千7百万円に比べ2億8千1百万円の減少となりました。この主な要因は有形固定資産が3億7千8百万円減少したことなどによるものです。

負債合計は186億2千4百万円と前期末の185億4千7百万円に比べ7千6百万円の増加となりました。負債のうち流動負債は134億4百万円と前期末の102億2千5百万円に比べ31億7千8百万円の増加となりました。この主な要因は支払手形及び買掛金が12億6千5百万円、短期借入金が17億2千万円増加したことなどによるものです。固定負債は52億2千万円と前期末の83億2千1百万円に比べ31億1百万円の減少となりました。この主な要因は長期借入金が30億2千4百万円減少したことなどによるものです。

純資産合計は147億7千8百万円と前期末の137億9千3百万円に比べ9億8千5百万円の増加となりました。この主な要因は利益剰余金が6億9千3百万円、為替換算調整勘定が2億5千3百万円、非支配株主持分が1億1千6百万円それぞれ増加したことなどによるものです。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年3月期における通期の業績予想につきましては、2021年11月12日に公表しました業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	5,905,810	4,917,457
受取手形及び売掛金	6,354,255	6,775,840
製品	2,087,026	2,599,266
原材料及び貯蔵品	1,541,364	1,950,478
その他	865,467	1,853,919
貸倒引当金	△300	△300
流動資産合計	16,753,623	18,096,661
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,233,384	3,142,204
土地	3,823,507	3,791,171
その他（純額）	2,432,472	2,177,706
有形固定資産合計	9,489,363	9,111,082
無形固定資産	197,308	259,254
投資その他の資産		
投資有価証券	4,874,627	4,854,331
退職給付に係る資産	544,911	632,062
繰延税金資産	161,979	162,570
その他	332,805	290,548
貸倒引当金	△13,355	△3,585
投資その他の資産合計	5,900,969	5,935,928
固定資産合計	15,587,641	15,306,265
資産合計	32,341,265	33,402,926
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,641,446	6,906,852
短期借入金	3,432,967	5,153,203
未払法人税等	128,031	240,008
賞与引当金	158,251	84,965
その他	865,293	1,019,009
流動負債合計	10,225,990	13,404,039
固定負債		
長期借入金	6,502,839	3,477,987
繰延税金負債	918,878	939,860
退職給付に係る負債	401,716	405,087
関係会社整理損失引当金	365,700	315,848
その他	132,609	81,507
固定負債合計	8,321,743	5,220,290
負債合計	18,547,734	18,624,330

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,481,159	1,481,159
資本剰余金	1,033,981	1,033,981
利益剰余金	9,536,380	10,229,769
自己株式	△18,281	△18,342
株主資本合計	12,033,240	12,726,568
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,697,495	1,606,554
為替換算調整勘定	△782,268	△528,819
退職給付に係る調整累計額	△25,766	△13,215
その他の包括利益累計額合計	889,460	1,064,518
非支配株主持分	870,829	987,509
純資産合計	13,793,530	14,778,596
負債純資産合計	32,341,265	33,402,926

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)
売上高	21,015,189	20,475,744
売上原価	19,153,115	17,121,986
売上総利益	1,862,074	3,353,758
販売費及び一般管理費	2,082,598	2,286,780
営業利益又は営業損失(△)	△220,523	1,066,977
営業外収益		
受取利息	3,981	4,102
受取配当金	76,739	76,446
持分法による投資利益	10,103	43,036
為替差益	—	22,904
雇用調整助成金	111,211	—
その他	86,502	70,113
営業外収益合計	288,537	216,603
営業外費用		
支払利息	87,361	83,156
為替差損	38,838	—
その他	56,615	15,664
営業外費用合計	182,815	98,821
経常利益又は経常損失(△)	△114,801	1,184,760
特別利益		
固定資産売却益	1,660	4,603
投資有価証券売却益	86,866	—
特別利益合計	88,527	4,603
特別損失		
固定資産除売却損	2,825	26,676
ゴルフ会員権売却損	—	8,142
投資有価証券売却損	—	631
特別損失合計	2,825	35,450
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△29,100	1,153,913
法人税、住民税及び事業税	51,394	269,876
法人税等調整額	9,282	55,709
法人税等合計	60,677	325,586
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△89,777	828,326
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△56,062	56,441
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△33,714	771,885



四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△89,777	828,326
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	176,235	△90,941
為替換算調整勘定	△380,730	251,499
退職給付に係る調整額	31,947	10,129
持分法適用会社に対する持分相当額	50,921	64,608
その他の包括利益合計	△121,625	235,296
四半期包括利益	△211,403	1,063,623
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△69,631	946,943
非支配株主に係る四半期包括利益	△141,771	116,679

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取れると見込まれる金額で収益を認識することとしております。

これにより、有償支給取引については、従来は売上高と売上原価を総額で計上し、有償支給材については四半期連結貸借対照表上、製品ならびに原材料及び貯蔵品に含めて計上していましたが、第1四半期連結会計期間の期首からは加工費相当額のみを純額で収益として計上し、有償支給材については四半期連結貸借対照表上、流動資産のその他として計上する方法に変更しております。

この結果、従前の会計処理と比較して、当第3四半期連結累計期間の売上高及び売上原価はそれぞれ7,929百万円減少しましたが、営業利益、経常利益、税金等調整前四半期純利益に与える影響はありません。また、当第3四半期末の製品は264百万円、原材料及び貯蔵品は246百万円それぞれ減少し、流動資産のその他が510百万円増加しております。

また、収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っておりますが、利益剰余金期首残高に与える影響はありません。

なお、収益認識会計基準第89-2項に定める経過的な取扱いに従って、前連結会計年度について新たな表示方法により組替えを行っておりません。さらに、「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号 2020年3月31日)第28-15項に定める経過的な取扱いに従って、前第3四半期連結累計期間に係る顧客との契約から生じる収益を分解した情報を記載しておりません。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することいたしました。これによる、四半期連結財務諸表への影響はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び損失の金額に関する情報 (単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注 2)
	日本	東南アジア	計				
売上高							
外部顧客への売上高	15,508,819	5,280,692	20,789,511	225,678	21,015,189	—	21,015,189
セグメント間の内部 売上高又は振替高	338,046	—	338,046	288,736	626,783	△ 626,783	—
計	15,846,866	5,280,692	21,127,558	514,415	21,641,973	△ 626,783	21,015,189
セグメント損失(△)	△ 156,018	△ 63,347	△ 219,365	△ 1,158	△ 220,523	—	△ 220,523

(注) 1. 「その他」の区分は、海外事業の内、報告セグメントに含まれない事業セグメントであります。

2. セグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失(△)と調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報 (単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注 2)
	日本	東南アジア	計				
売上高							
外部顧客への売上高	10,829,584	9,313,691	20,143,275	332,468	20,475,744	—	20,475,744
セグメント間の内部 売上高又は振替高	259,534	—	259,534	190,413	449,947	△ 449,947	—
計	11,089,118	9,313,691	20,402,810	522,882	20,925,692	△ 449,947	20,475,744
セグメント利益又は損失(△)	670,439	397,809	1,068,248	△ 1,271	1,066,977	—	1,066,977

(注) 1. 「その他」の区分は、海外事業の内、報告セグメントに含まれない事業セグメントであります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。